

モニターアーム (EEX-LA047シリーズ) 組立説明書

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

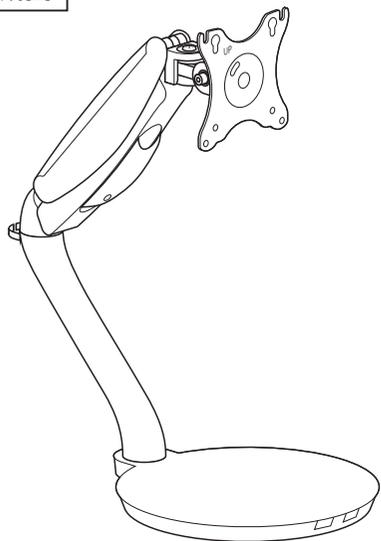
Ver.1.0

組立説明書は大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

<用意していただくもの>
手袋 (組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)
毛布※1
※1 VESA取付けピッチ75×75mmのディスプレイに取付ける場合は不要です。

完成図

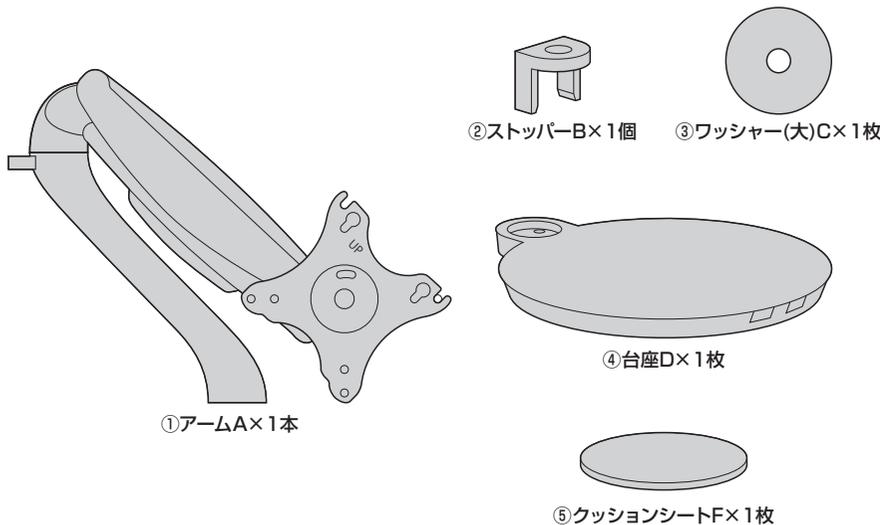


対応VESA取付け穴ピッチ
100×100mm
75×75mm

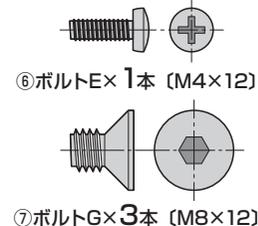
耐荷重 6kg

組立て部品

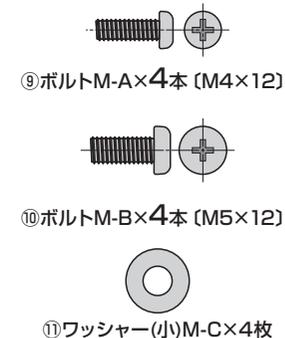
※部品の欠品や破損があった場合は、品番 (EEX-LA047 など) と下記の部品番号 (①～⑪) と部品名 (クッションシートなど) をお知らせください。



<使用ボルト>

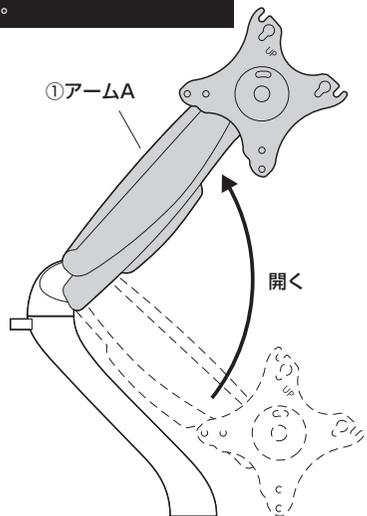


<ディスプレイ取付け用ボルト・ワッシャー>



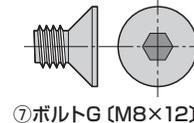
1. アーム A を矢印の方向に開きます。

<注意>
指などを挟まないように十分ご注意ください。

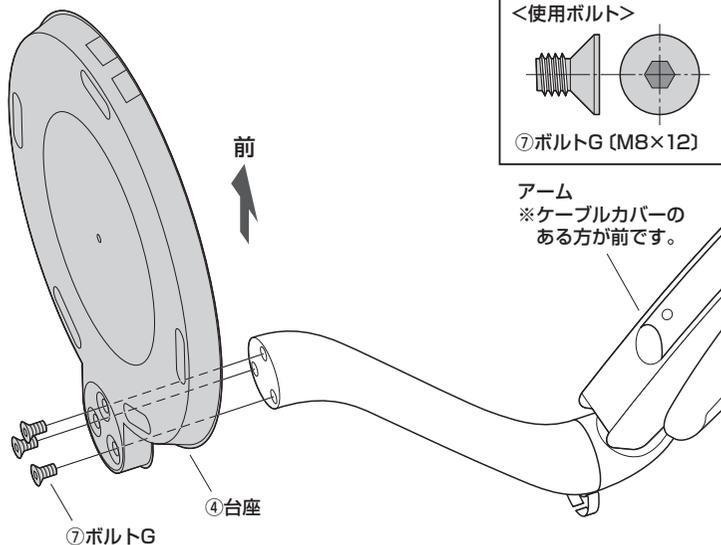


2. アーム A に台座 D を取付けます。

<使用ボルト>

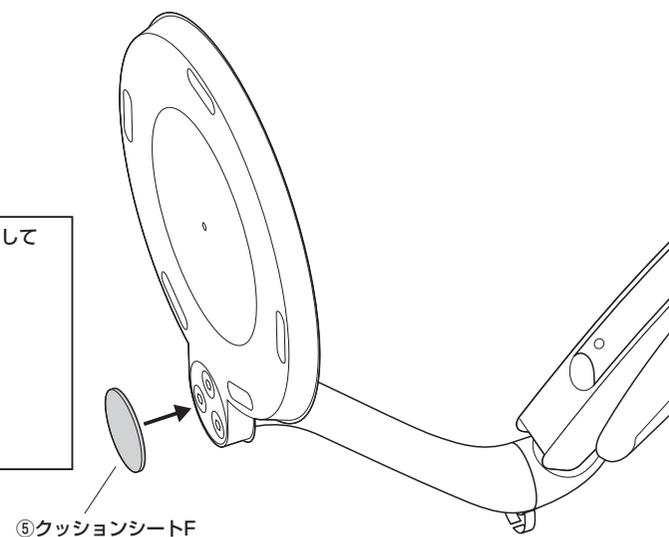


アーム
※ケーブルカバーのある方が前です。



3. 台座 D にクッションシート F を取付けます。

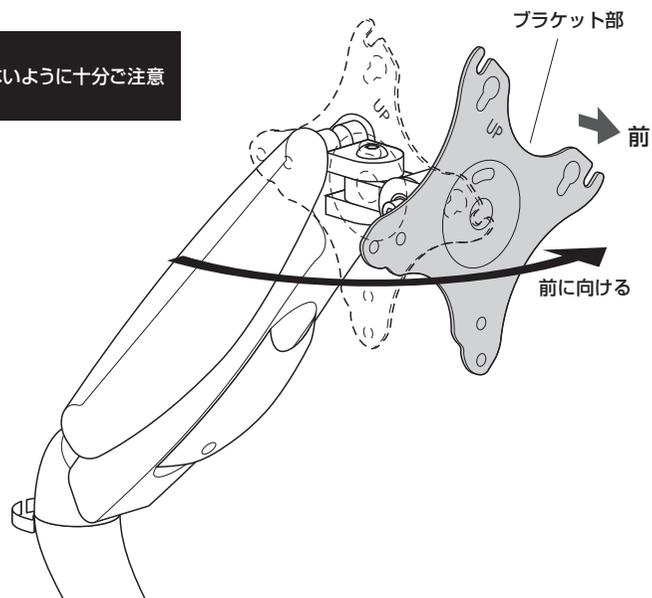
はくり紙を剥がして
貼り付けます。



4. アーム全体を起こし、ブラケット部を矢印の方向に回転します。

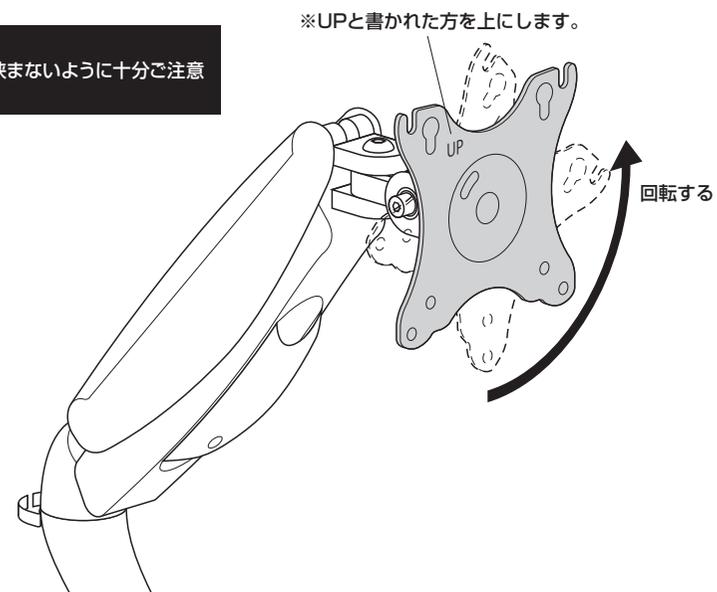
① ブラケット部を前に向けます。

<注意>
指などを挟まないように十分ご注意ください。

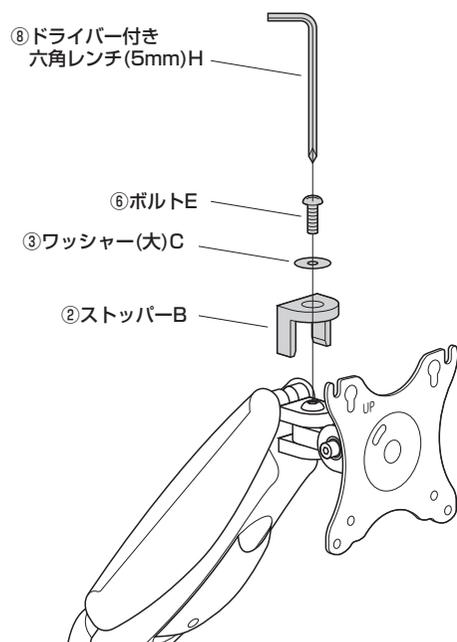


② UPの文字が上になるようにブラケット部を回転します。

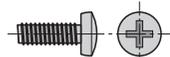
<注意>
指などを挟まないように十分ご注意ください。



5. アーム A にストッパー B を取付けます。



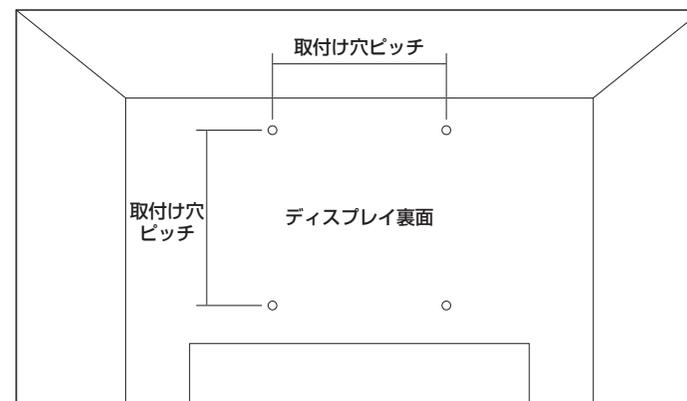
<使用ボルト>



⑥ ボルト E (M4×12)

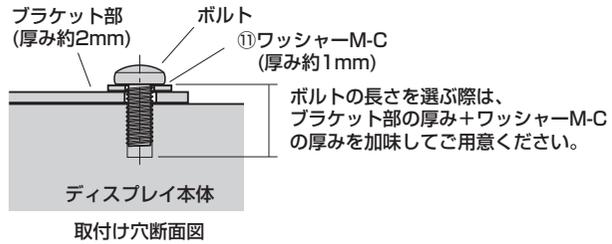
6. ディスプレイの取付け穴ピッチを確認します。

<注意>
ディスプレイに付属しているスタンド類は取外してください。
スタンド類の取外し方法はディスプレイの取扱説明書をご参照ください。



7. アーム A にディスプレイを取付けます。

<ボルト選定時の注意点>



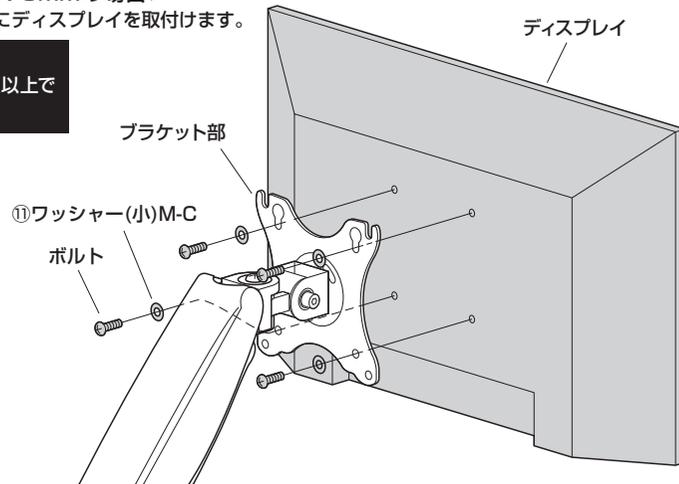
<ボルトの太さ、長さに関する注意>

- ・ボルトが太すぎたり、長すぎたりするとディスプレイを破損する場合があります。
- ・また、ボルトが短すぎるとディスプレイがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。
- ・取付けに適したボルトの太さ、長さは各ディスプレイによって異なります。
- ・必ずディスプレイの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、適切な太さ、長さのボルトを使用してください。
- ・付属のボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意の上、市販の適切な太さ、長さのボルトをご用意ください。

<ねじ穴ピッチ75×75mmの場合>

アームAのブラケット部にディスプレイを取付けます。

<注意>
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

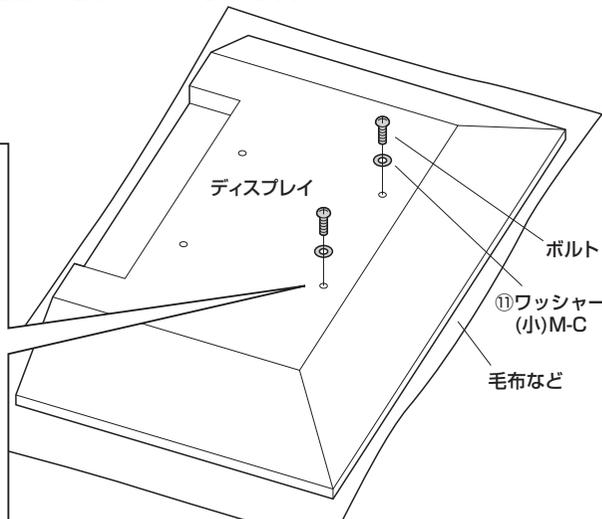
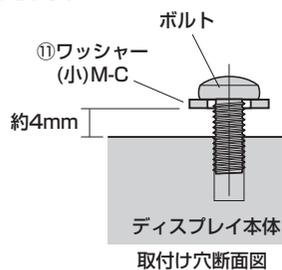


<ねじ穴ピッチ100×100mmの場合>

①ディスプレイの上側2カ所に4mm程度隙間を開けてボルトをつけます。

<注意>
毛布などを下に敷き、ディスプレイへの傷や破損に十分ご注意ください。

ボルトはワッシャー(小)M-Cとディスプレイの間に4mm程度のすき間が空くように緩めに付けておきます。

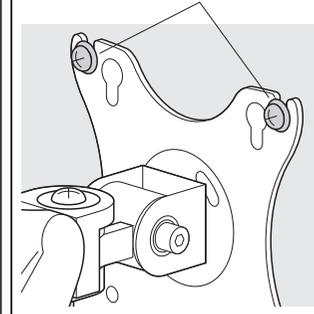


②アームAのブラケット部にボルトをひっかけます。

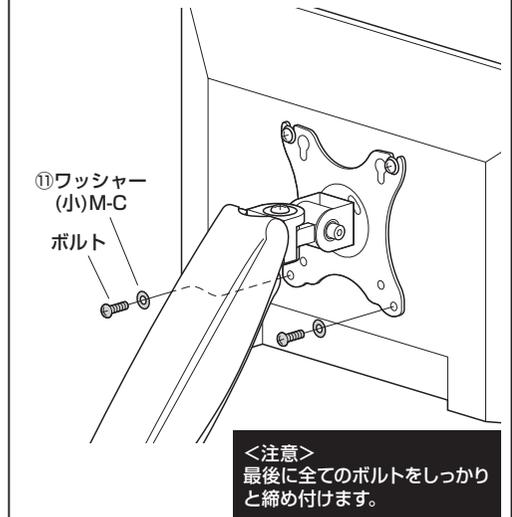
<注意>
指などを挟まないように十分ご注意ください。

ワッシャー-M-Cはブラケット部の後側になります。

①ワッシャー(小)M-C

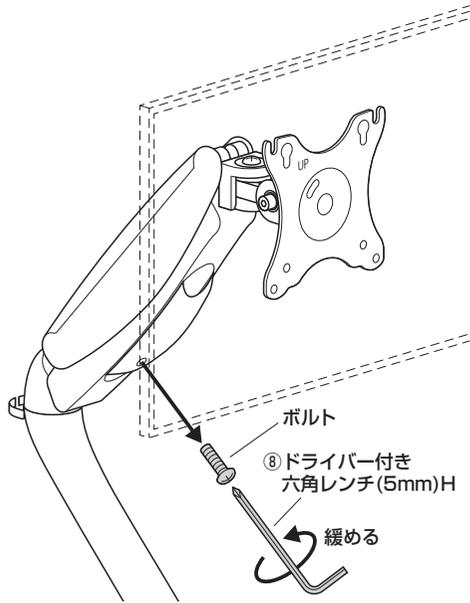


③下側2箇所をボルトで固定します。

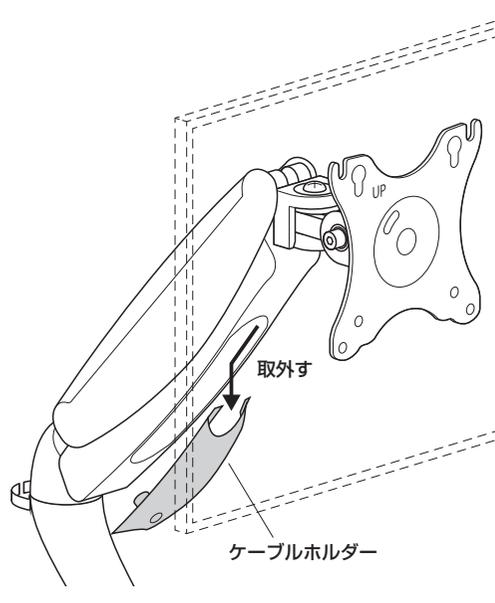


8. アーム A からケーブルホルダーを取外します。

①アームAの下図のボルトを取外します。

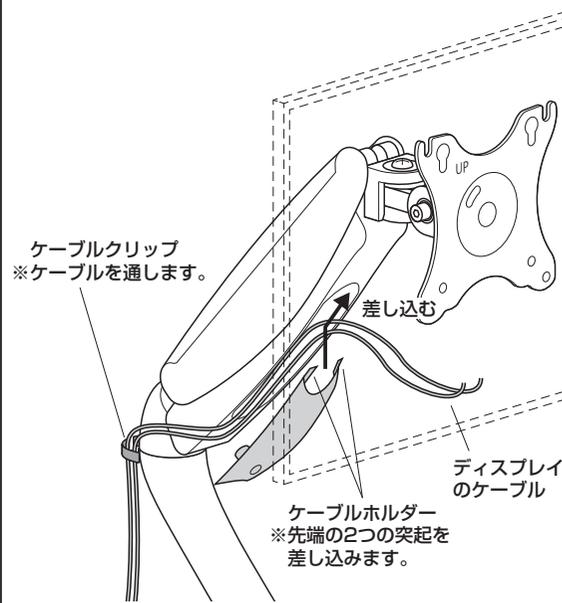


②ケーブルホルダーを矢印の方向にスライドし、取外します。

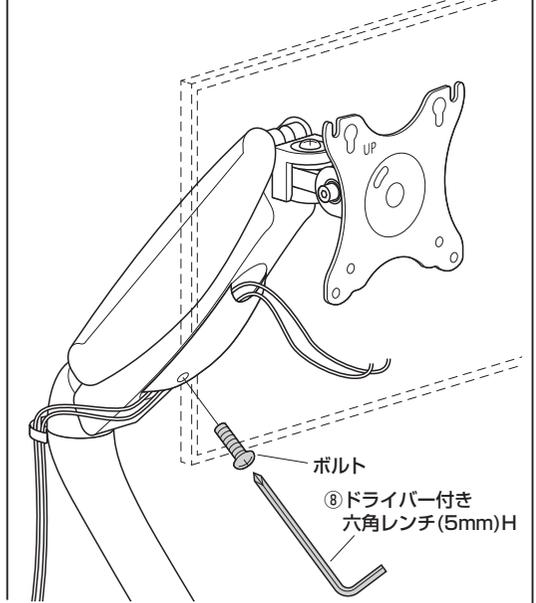


9. ディスプレイのケーブルを接続し、ケーブルホルダーで留めて完成です。

①ディスプレイのケーブルを下図のように配線し、アームの穴にケーブルホルダーの先端の突起を差し込みます。



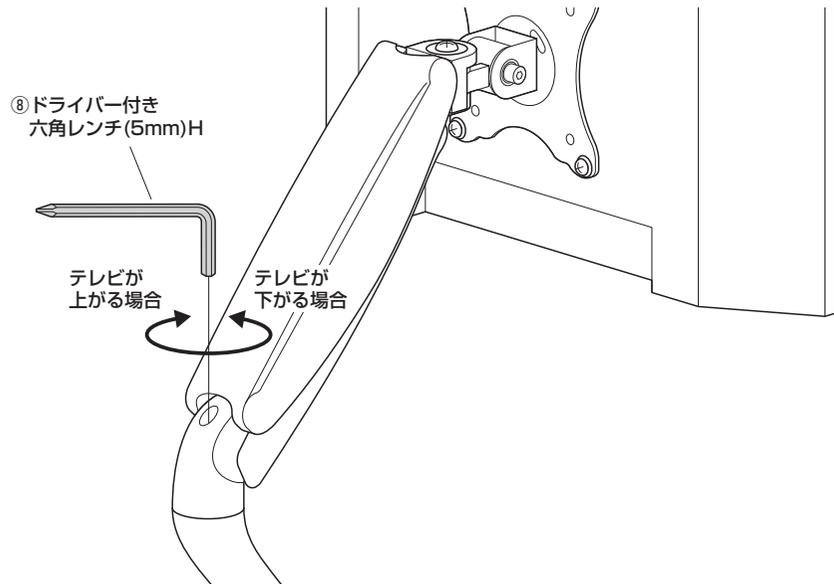
②ケーブルホルダーをボルトで固定します。



関節の調節方法

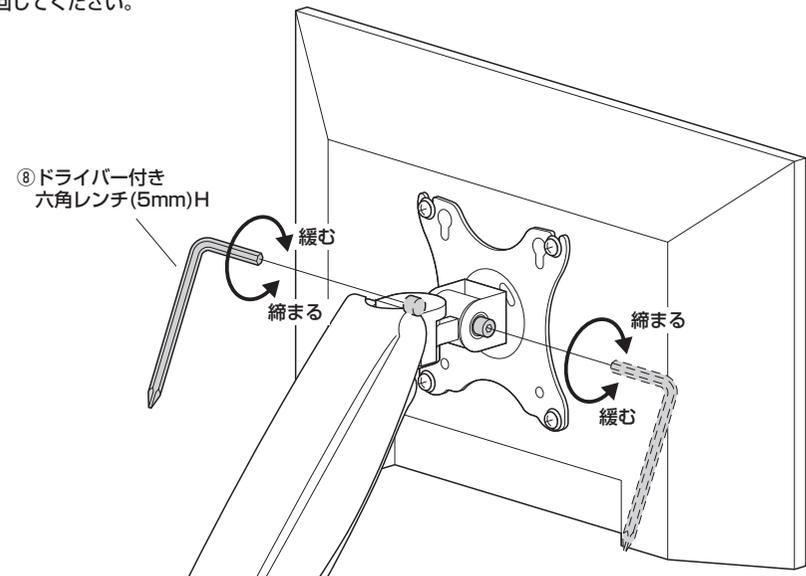
<アームの保持力の調節方法>

テレビの重さとアームの保持力が合うように下図のボルトで調節します。



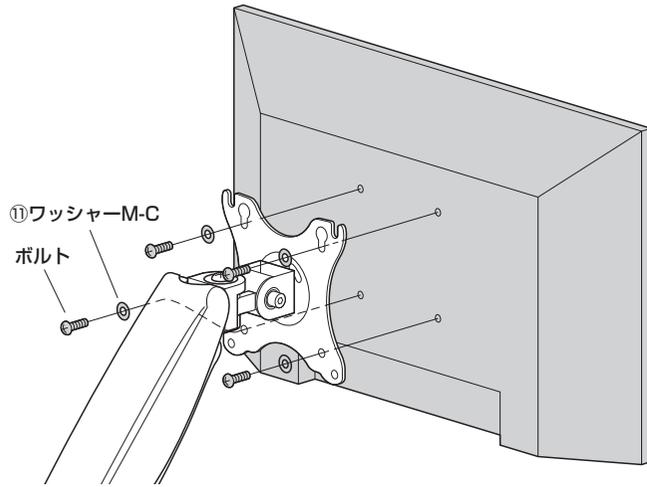
<ブラケット部の調節方法>

ブラケット部の動きが軽すぎたり、重すぎる場合は下図のボルトを回します。
※左右均等に回してください。

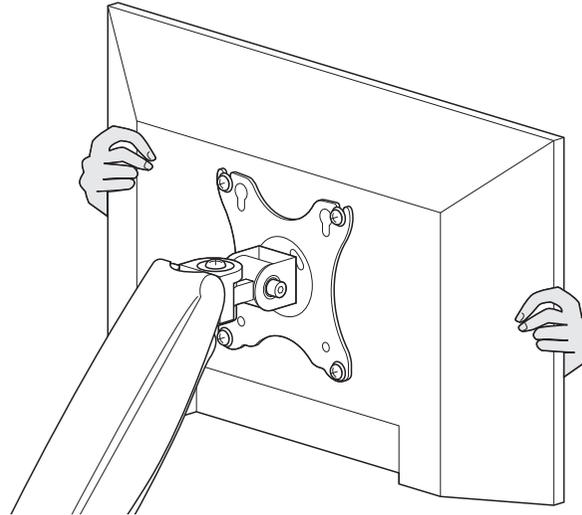


安全の為に注意していただく点

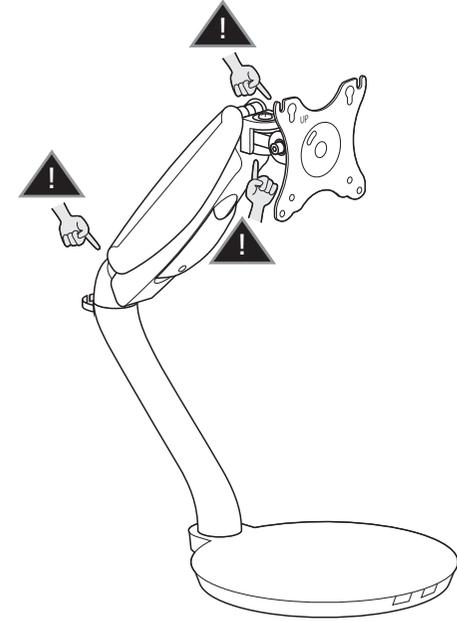
ディスプレイは4本のボルトでしっかりと固定してください。



ディスプレイの調整は必ず両手で行い、片手での使用はおやめください。



可動部分で指をはさまないように注意してください。



その他

- 6kgを超えるのディスプレイは取付けないでください。
- アーム部に物を置かないでください。
- 本製品を振動のある場所に設置しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ホコリや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

以上の点に注意して取扱ってください。

製品に関するお問い合わせ

製品の品質管理には細心の注意を払っていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お問い合わせの販売店までお気軽にご相談ください。

山陽トランスポート有限会社

店舗名: イーサプライ <https://www.esupply.co.jp>
岡山県倉敷市児島神田町1861 TEL: 086-473-9152
CS/AI/TTD&C